
サーシャちゃんと朝から
らぶらぶ濃密えっちのやつ♥
ちゅ
ちゅ
ちゅ
ボンボンッ
R18
ADULT ONLY


最近もっぱら僕の家に入り浸っているサーシャちゃん。
もちろん僕は一緒にいられて嬉しいんだけど、
ご両親は心配しないのか尋ねてみたところ
もぐもぐ…
もぐもぐもぐ…
曰く、パパは母国にいるしママは興味を持っていないので大丈夫だろうとの事。
過度な求愛もやはり寂しさからくるものなのだろうか・・。
おほ使い方、ヴァーズなったデショ？
唯一そばにいられるマトモな大人として彼女にとっての心の拠り所になってあげたい。。
マトモ…？

そして
性欲に負けるだけの
ふとしは卒業し、

サーシャちゃんの
親役もちゃんと
務めるんだ・・！



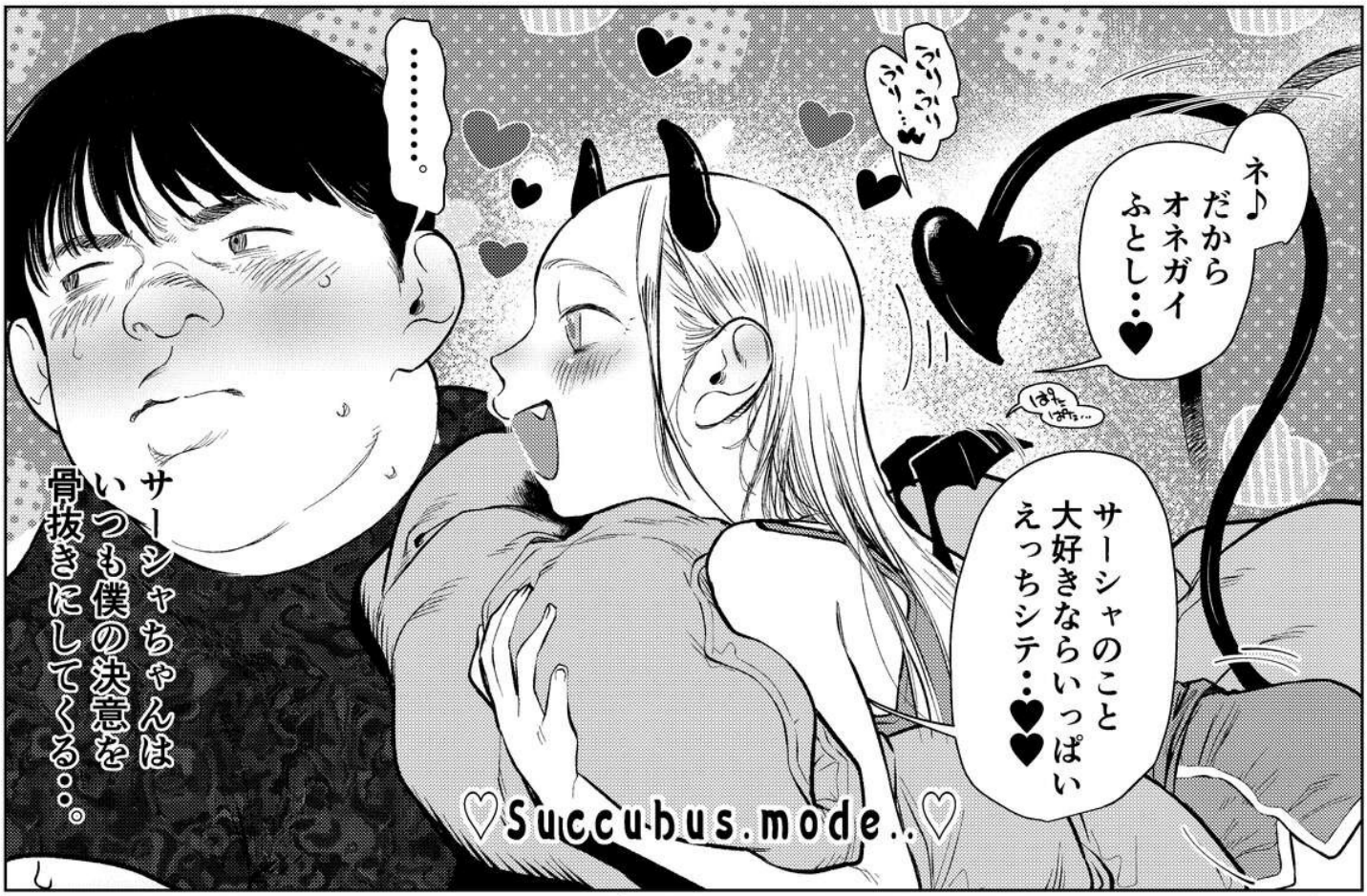

サーシャちゃん・・？
どこ行ったんだろ・・
キョロ
キョロ…
……。。
もぞもぞ
もぞ…

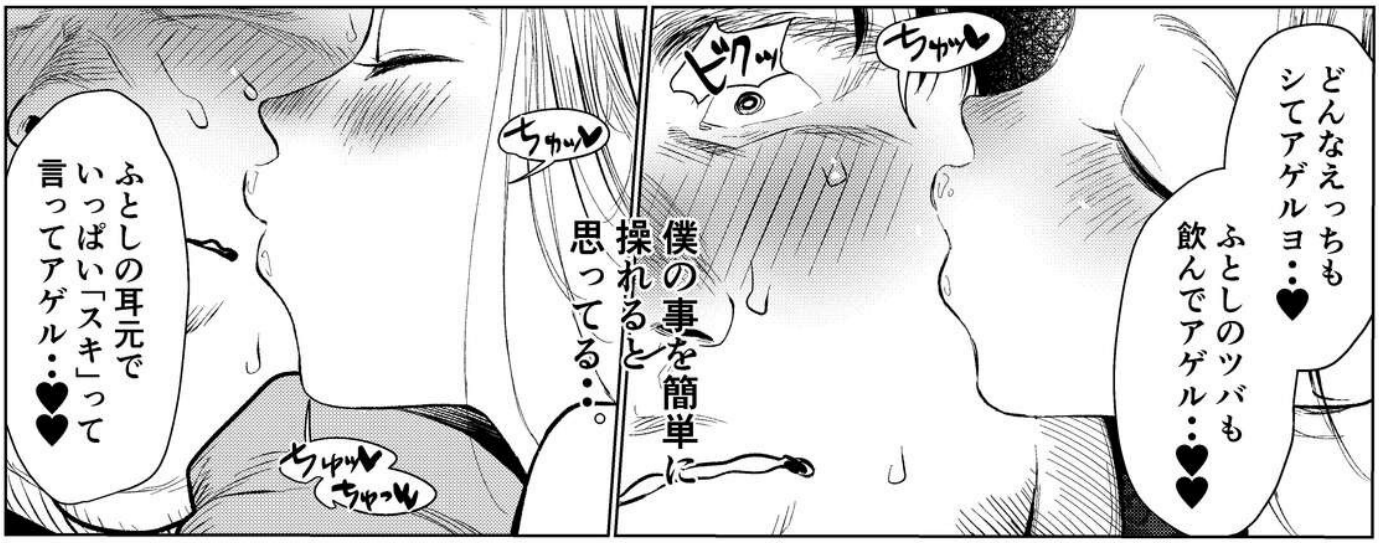
ズッ

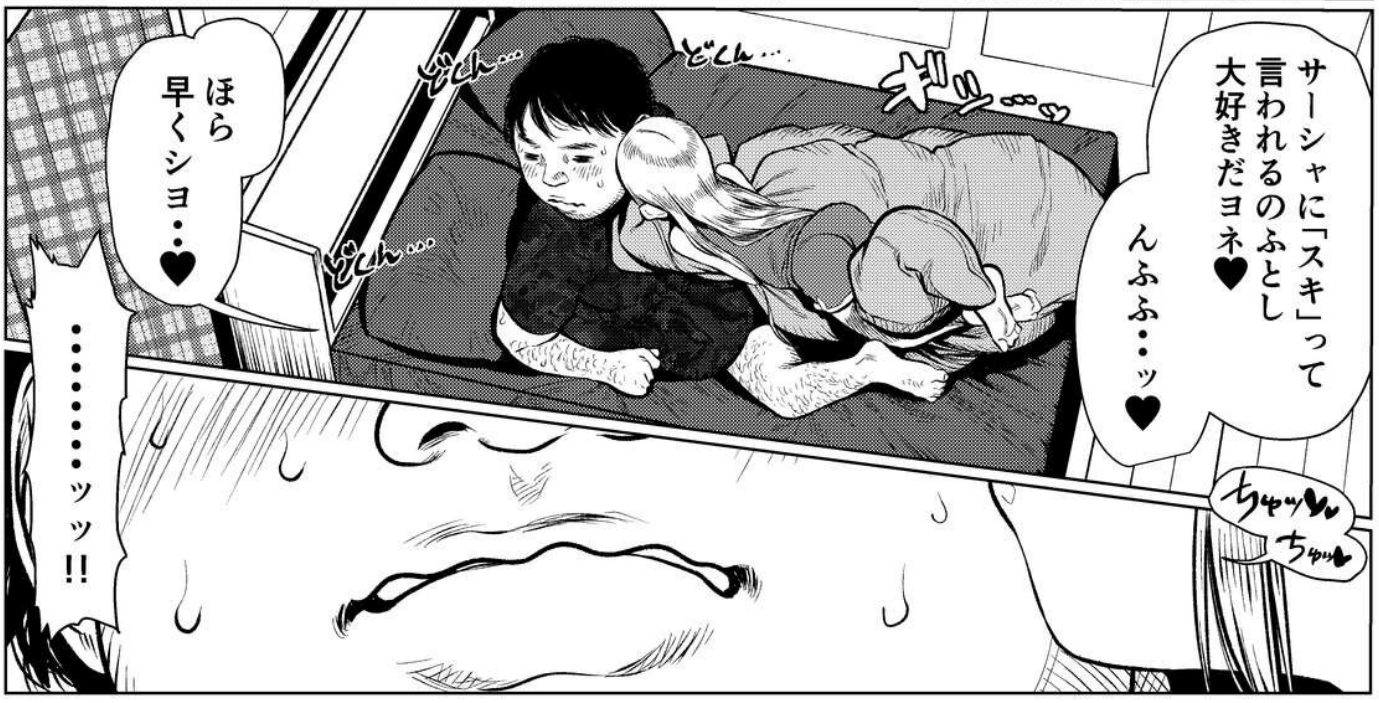

・・お、おはよう
サーシャちゃん。
ギッ…
はむ
はむ
はむっ
朝っぱらから何
してるのかな・・？
はむ
はむ
ちゅ
ちゅ
ん～～・・♥


夜はふとしお疲れさまが多いだから朝にする事にしたノ。
もぞもぞ…
何って、えっちする準備ダヨ・・♥
ぱたぱた
おちんちんもサーシャの中に入りたいっていっぱいおっきくなってるヨ♥
はむはむはむ
ちゅっ
ちゅんちゅん
カワイイ・・♥
そ、それは生理現象で・・
ていうか今日は平日でしょ、僕だって仕事行かなきゃだしサーシャちゃんも学校準備しなくっちゃ・・！
お仕事も学校も一日休んで問題ゼロだヨ。だから、お昼までいっぱいえっちシヨ♥
はむはむ
まずいな・・こーなった時のサーシャちゃんはテコでも譲らないから・・。

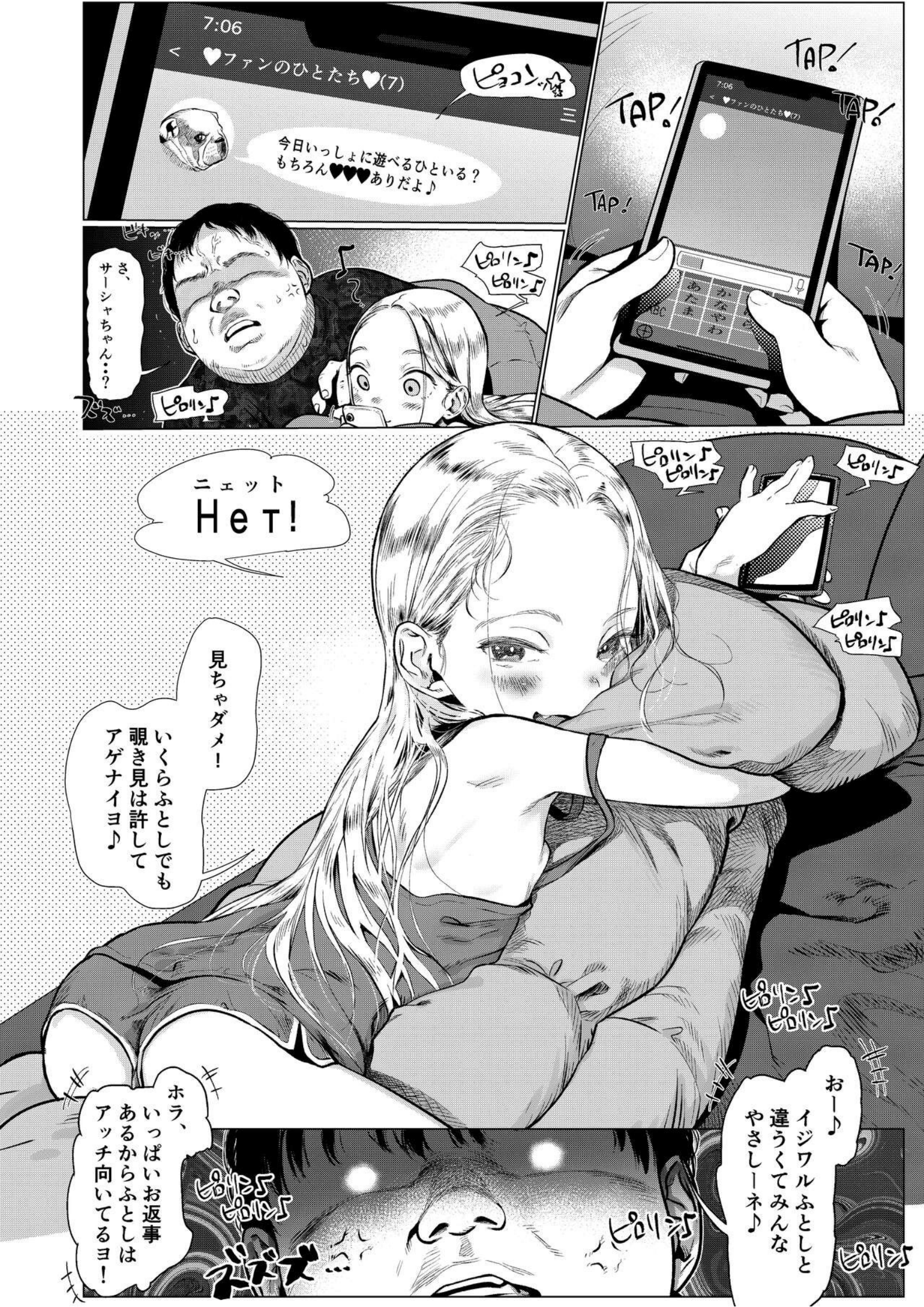

ね、ねえ
サーシャちゃん。
お互い今日頑張る代わりに
週末のデート、ちょっと
遠出するのはどうかな!?
温泉とか！
そのデート費用
稼ぐ為にもお仕事
行かせて欲しいな。
!!
ピクッ
ちゅっ
ちゅっ
はむ
はむ
DHCヨロ…!?
温泉
行くヨ!!
でもサーシャ、
ふとしよりいっぱい
お金稼いでる！
だからふとしのお仕事は
頑張るの無駄の事だから
休んでダイジョブだヨ！
だから今日も
えっちシよー!!
……。
ゴロゴロゴロ——ッ
ゴロゴロッ
お願いお願い
お願い〜ッッ!!
えっちシヨー!!
・・・あ！
ふとしお仕事
やめよーヨ!?
「ヒモ」なれ！
メーアンだネ!!


ネ♪
だから
オネガイ
ふとし・・♥
サーシャのこと
大好きならいっぱい
えっちシテ・・♥♥
♡Succubus.mode..♡
サーシャちゃんは
いつも僕の決意を
骨抜きにしてくる・・。


どんなえっちも
シてアゲルヨ・・♥
ふとしのツバも
飲んでアゲル・・♥♥
僕の事を簡単に
操れると
思ってる・・。
ふとしの耳元で
いっぱい「スキ」って
言ってアゲル・・♥♥


サーシャに「スキ」って
言われるのふとし
大好きだヨネ♥
んふふ・・ッ♥
ほら
早くシヨ・・♥
・・・・・・ッッ!!


サーシャちゃん・・。
ピクンッ
・・いいかい
ぼ、僕だって大好きなサーシャちゃんと一日中えっちしてたいさ。
でも駄目なものは駄目なんだよ・・！
学校へは必ず行くこと！僕も仕事に行く。
遊ぶのはやる事を終わらせてからで
それが守れないなら・・・
・・・・・・・・。
ぼぅぅ――ん・・・!!
あーーー、ツマンナイ！
サーシャちゃん僕は真面目な話しを・・・
・・って何してるの・・？
別ニ～。
イジワルふとしが遊んでくれないだから他の人と遊ぶダケだヨ～。
TAP!
TAP!
え!?それって・・


7:06
< ♥ファンのひとたち♥(7)
ピコン
今日いっしょに遊べるひといる？
もちろん♥♥♥ありだよ♪
TAP!
TAP!
TAP!
TAP!
TAP!
ピロリン♪
ピロリン♪
さ、サーシャちゃん…？
ピロリン♪
ズズ…
ニェット
Нет!
見ちゃダメ！
いくらふとしでも
覗き見は許して
アゲナイヨ♪
ピロリン♪
ピロリン♪
ピロリン♪
ピロリン♪
ピロリン♪
ピロリン♪
ピロリン♪
ピロリン♪
おー♪
イジワルふとしと
違うくてみんな
やさしーネ♪
ホラ、
いっぱいお返事
あるからふとしは
アッチ向いてるヨ！
ズズズ

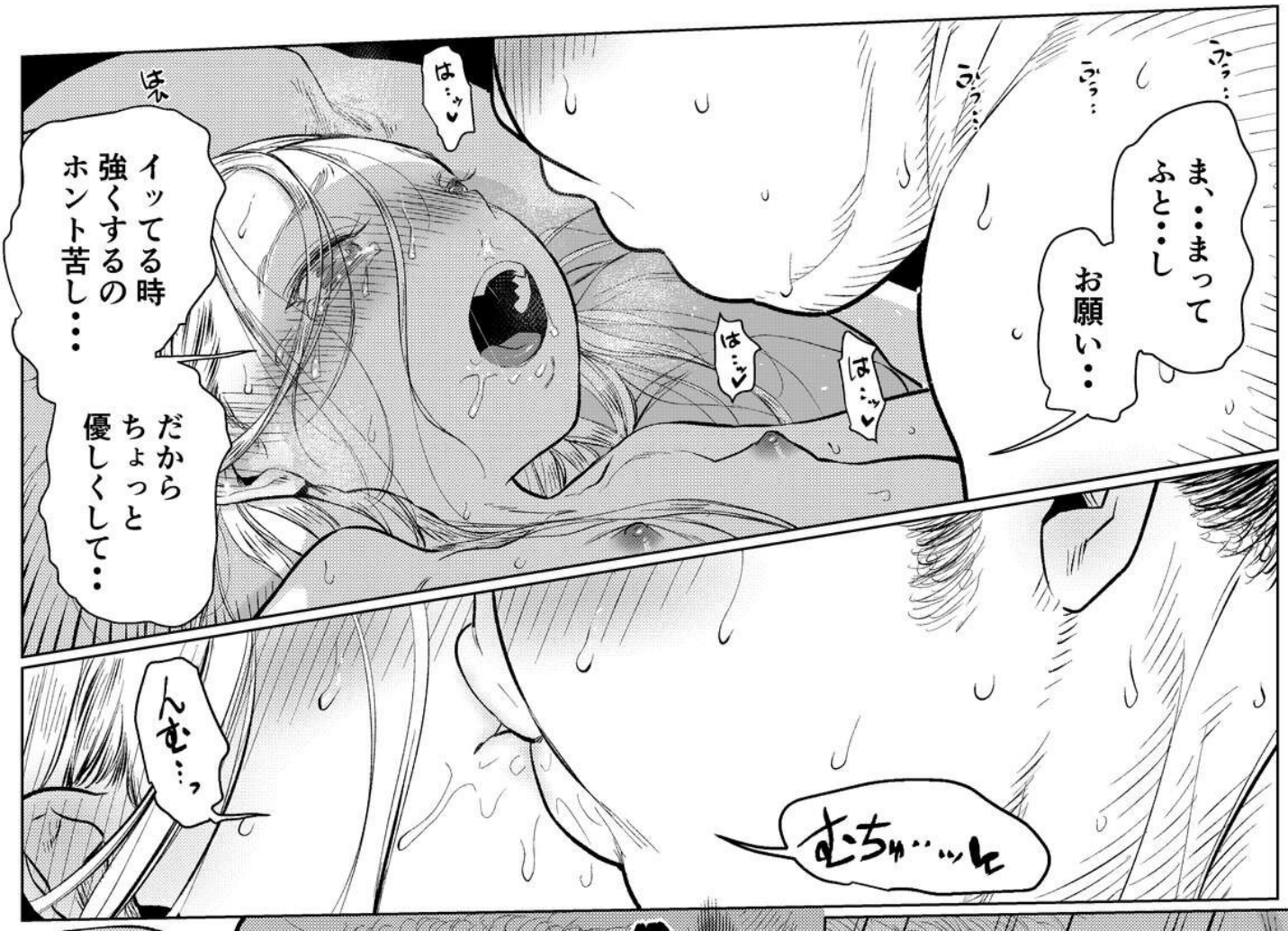

えー・・と、
「ひさしぶりいっぱいの
人とシたいだから
5人より
もっとくらい・・・」
ゴゴゴゴゴ・・・
TAP!
TAP
TAP!
TAP!
TAP!
「大きい声出して
ダイジョブがイイから
●●くんのお家がいいネ。」
ピロリンッ
TAP!
TAP!
TAP
TAP!
TAP
ピロリンッ
「みんなで●●くんの
お家行くのいい？」
えーと、
それから・・
あ、そーだ！
夜はコッチ帰ってくる
だからご飯と一緒に
あのドラマ続き見ヨ！
サーシャは
手作りパスタ
食べたいだから
ちゃんと用意
シててネ！
あ！
それからデザートも
食べたいだから・・


ぐっ…!!
ぐっ…!!
ズチュッ
ズチュッ
ぐっ…!!
ぐっ…!!
バチュッ
バチュッ
バチュッ
バチュッ
バチュッ
バチュッ
かはっ…
かはっ…
ビクビクッ
ビクッ
ビクンッ
ズチュッ


くそ・・ッ！
くそ・・ッ!!
くそ・・ッ!!
彼氏の目の前で
堂々浮気連絡する
だなんて・・ッ!!
しかも
一対複数の乱交が
したいだって・・ッッ!?
この・・ッ!!
ビクッ
ビクンッ
ぱちゅッ


何で君は
そうやって・・ッ
いつもいつも
僕の心を掻き乱して
くるんだ・・・ッ!!
くそ・・ッ！
くそ・・ッ!!
この・・ッ!!
可愛すぎる雌め・・ッ!!
ビクッ
ビクンッ
ぴちゃッ


それでも
大好き
なんだ・・ッ!!
ズンッ
ビクッ
ビクンッ


ま、・・まって
ふと・・し
お願い・・
はッ♡
はッ♡
はッ♡
イッてる時
強くするの
ホント苦し・・・
だから
ちょっと
優しくして・・
んむ・・っ
むちゅ・・・っと


僕の知らない所で
僕よりずっとえっち
上手な雄と交尾しまくって
開発された膣の感触・・ッ!!
ズンッ
ズンッ
ズンッ
ビクビクッ
ビクビク
ビクンッ
しゅごいのぉぉぉ
イッグッ


サーシャちゃん
前よりまた一段と
イき易くなってる・・
ちゅッ♡
ちゅッ♡
ちゅッ♡
ぬちゅッ♡
ぬちゅッ♡
言葉とは裏腹に
子ども膣
キュンキュン
痙攣させて・・
ぬちゅッ♡
ぬちゅッ♡
ちゅッく♡
ちゅッく♡
にゃちゅッ♡


びゅるるるる…っ!!
ずちゃ
ずちゃ
びっくっ
びっくっ
ぴくっ
ひぅ…っ
ひ…ぃ
…その時のふとしは
スゴいで何回出しても
ずっとカタいのままで…
ひゃ…
ひゃ…
はぁ…ん
はぁん
ふ…ぅ…し
ちょっと休ま
て…
はぁん
ぴゅっぴゅっ
サーシャがいっぱい
イッるなのにゼッタイ
許してくれないだったなの…
ばちゃっ
ばちゃっ
ばちゃっ
ばちゃっ
ばちゃっ


潰されて息も出来ないになる
怒るのキモチ全部ぶつけてくるセックス・・
ふとしに全部「支配」されてるなカンジで大好き・・♥


ちゅくちゅ
くちゅ…♥
んむ…♥
ふぅ…
ふぅ…♥
ふ～～…♥
ふ～～…♥
ちゅ♥
ちゅ♥
ちゅ♥
ちゅ♥
ちゅ♥
ちゅ♥
サーシャのコト
ホントに大好き
なんだっていっぱい
伝わってきて
お腹の奥が
くすぐったいになるな…
きゅんきゅんきゅん
ふぅ…
ふぅ…
ふぅ…
ふとしできるな
大好きなえっち…♥
ちゅるるる…っ♥
ギ…
はぁ…
はぁ…
はぁ…
…そうやってまた
僕を懐柔しようと
しているんだね…。
…？
…へ？
どいっ
はぁ…
はぁ…
はぁ…


ビクンッ
ビクビクッ
ビクンビクン
ごぷしゃッ
分かってるんだよ！
君が僕を嫉妬に
狂わせてするえっちを
楽しんでいる事
なんかはね・ッ!!


君がいつもの
無邪気で愛らしい
笑顔を他の雄どもに
向けていると
思うと・・・
そして
その後しているような
セックスでも
僕とする時より
ずっと興奮している
って想像すると・・・
正直はらわたが
煮えくりかえる
気分だよ・・ッ!!
この淫乱な
雌膣が・・ッッ!!


僕には君しかいないって
分かっている癖に
そんな酷い事を
してくるんだ・・ッ!!
今日という今日は
容赦はしないよ・・


ぶるるっ
はひっ
はひっ
ビクッ
レロ…ッ
誰よりも君の事を愛しているのは僕なんだって
はひっ
ビクッ
ガクガクガク…ッ
ビクビク…ッ
ビクッビクン…ッ
ちゅうちゅう…っ
ぶるっ…っ
ぬち…っ
ぬちゃ…っ
それを身体の芯まで思い知らせてやる…ッ!!
ぬちゃ…っ


僕の愛がちゃんと君に届くまで
何十回だって激しく愛して
あげるからね・・ッッ!!
ズッ
ズンッ
ズンッ
ズンッ
ガガガッ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ビュルルルルッ
ピクッ
ビクッ
ちゅぽんっ♥
ビクッ
ハァハァ
ピュルルッ
ぬろろろ…
ビクンッ
はぁ♥
はぁ…♥
たっぷん
たっぷん♥
ビクッ
ビクッ
はぁ…♥
はぁ…♥
は~…♥
は~…♥
ホラ
サーシャちゃん。
四発目だっていうのに
こんなにいっぱい・・♥
ビンッ
ビンッ
ハァハァ
ハァ…
ザクザク
ザクッ
次は直接君の子宮の中に
この濃密な「愛」を
注ぎ込んであげるからね・・


ご、・ゴメンナサイふとし・・・
イジワルしてゴメンナサイ・もう許して・・
ちょっと休ませて・・
ちゃく…っちゃくっ
ビクッ
ギッ…ッ
はッ
はッ
はッ
はッ
は…ッ
ふぅ…
ふぅ…
ふぅ…


・いいかい、サーシャちゃん君は僕のお気に入りの雌なんだ・・
他の誰でもない「僕」のものなんだからね・・。
誰にも渡したりなんかしない・・。
にゃふるるる…っ
ビクッ
ビクッ…
ビクッ
ぬちぬち…
ひくひく…
ゾクゾク…
だ、だめ…
おっ…
おにさわにさわ…
ふぅ…

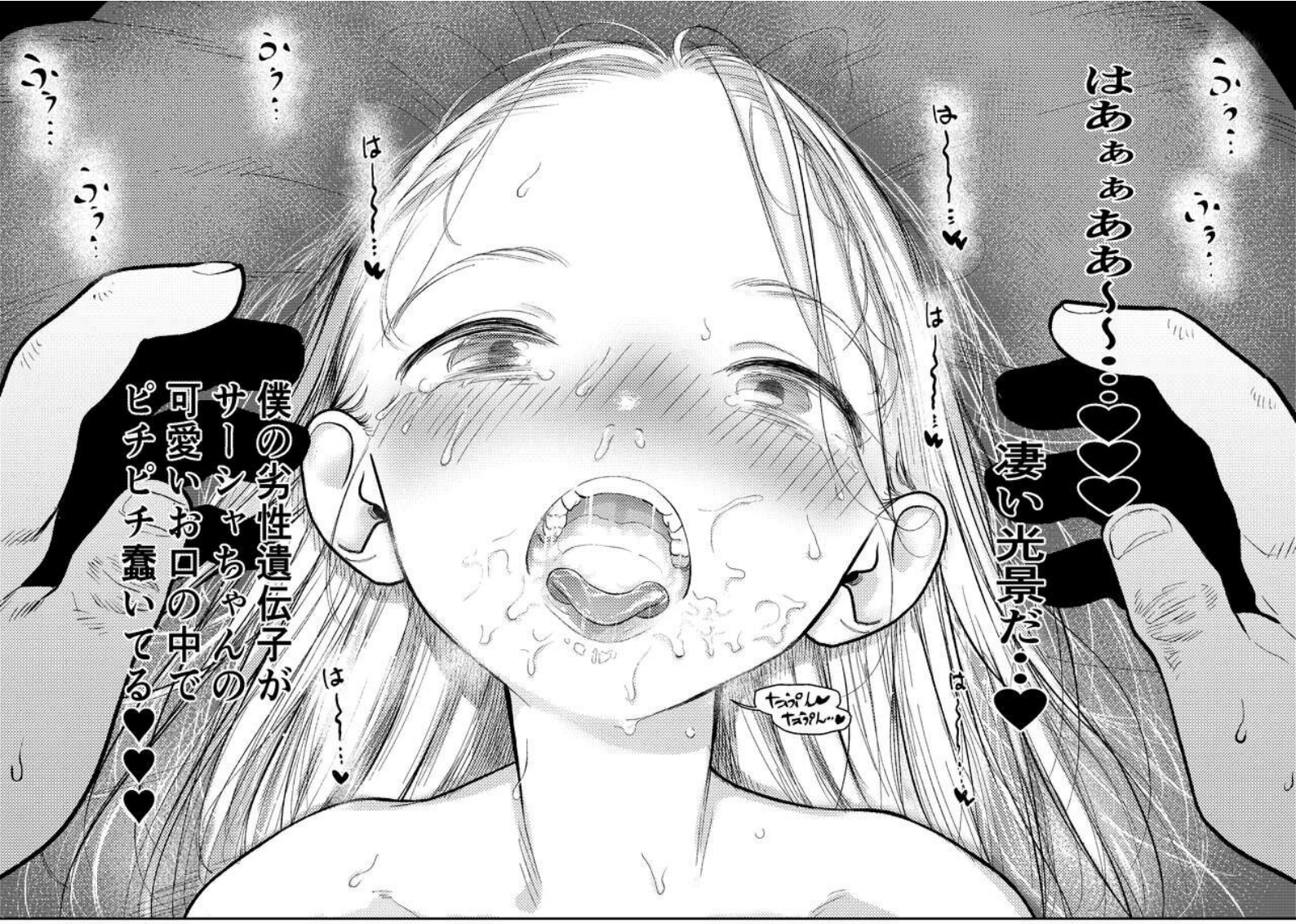

分かったらちゃんと今、何をされてるのか口に出して復唱するんだ
は、はい・・！
ベロォ…
ビクッ
ふぅ…
ふぅ…
ふぅ…


さ、サーシャは
ふとしの雌デス・・
ふとしだけの雌・・・。
サーシャはまだ子どもダケド・・
大人の雄のふとしに動けなくされて
ムリヤリ交尾されてマス・・。
ぶぅ…
ぶぅ…
ぶぅ…
ぶぅ…
このままいっぱい
マーキング
してクダサイ・
ぶぅ…
にゃぁ…
ぐいっ
お…♥
よぉし・
良く言えたね。
はぁ…
はぁ…
ガアア…!
ごぉぉ…
ごぉぉ…
ガアア…
ぬちゃ…
ごろぉ～～～…♥
ご褒美だ・♥
ぐちゃ…
ぐちゃ…
はぁ…
はぁ…
お…♥
あぅ…♥
や…♥
ぞくぞく
ぞくぞくっ
ぎゅうううう…♥


ギッ…
まだだよ・・
まだ飲んじゃ
駄目だ・・。
これだけじゃあ
いつもと何も
変わらないから・・
ごろろ…
ごろぉ～…
ふぅ…
ぅぅ…
ぅぅ…
ぅ


1個目～・・♪
最初のやつだから超濃厚♪
部分的にゼリー状の
塊みたいになってる・・♪
膣内に出してたら避妊薬飲んでても
絶対に妊娠しちゃってたろうね・・♥
はい、次は
2個目3個目
同時だよ・・
おっと、駄目駄目！
口は閉じないでッ！
そうそう、偉い子だね
大きくあ～ん
したままでね・・♥
ホラ口の端にまだ
残ってるよ。
一滴残さず
口に溜めて・・
そうそう・・。


4個目～・の前に
追加の唾も
加えてあげるね。
ふっ…
う？
ぐぐぐぐぐ…っ
ごぷりゅっ…
ごぷりゅっ
お…
う…
や…
かぁあ…
ぺっ!!
は～～…
ぺっ
ぺっ
とろとろ
とろろぉ…
満杯になりかけた
可愛いお口に
じじ…っ
とろとろぉ～…
あ…
あ…
う…
は～～…
は～～…
ぎゅうう…
最後の4個目も
キチンと注いで
あげて・・っと、
ボタボタ…
ボタ
じじ…
ぎゅうううう～～…
ぽたぽた…


はぁぁぁあ〜…♥♥♥
凄い光景だ…♥
僕の劣性遺伝子がサーシャちゃんの可愛いお口の中でピチピチ蠢いてる♥♥♥
ふぅ…
ふぅ…
ふぅ…
ふぅ…
は〜〜…♥
は〜〜…♥
は〜〜…♥
は〜…♥
は〜…♥
たっぷん…♥
たっぷん…♥


ほら
飲んで♥
僕の数億匹の
元気な精子を
君の身体の中に…
ゆーっくり…
ゆっくりと…
ビクッ
んぐ…っ
んぐ…
ふぅ…
ふぅ…
ふぅ…
ふ〜…♥
ふ〜…♥
んぐ…っ
ごぽ…
じじ…っ
んむ…っ
……!!

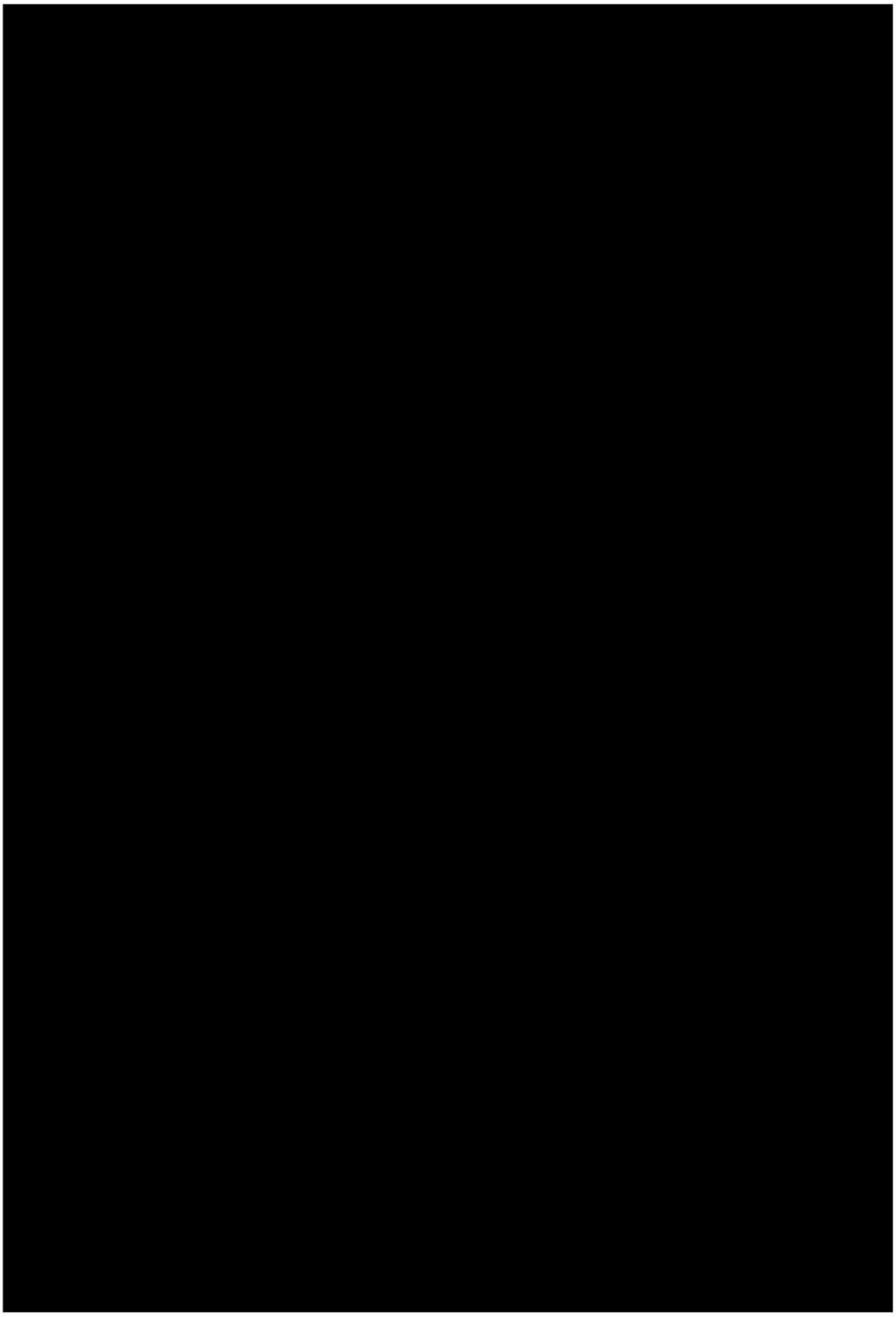

そうそう、偉い子だね…。その調子♪
んっく…♥
んく…っ♥
ごぽっ
ごくんっ
えぼっ
えぼっ!!
えぼっ!!
おっとと、むせて零さないように気をつけて。
お口開けたまま～…ゆ～っくり飲み干して。。
ごぽっ
ん…っく♥
ごっく…♥
ごくんっ
んく…っ♥
ごく…っ♥
ごくん…♥
ツ♥♥♥


僕も愛してるよ❤❤


はぁ…
ギ…ッ
はぁ…
え…!?
はぁ…
よ、よぉし・・
ごっくん出来たら
今度はゲップも
しないとね・・。
はぁ…
ほぉ～ら、
サーシャちゃん
げぇ～って・・・
ゲップして・・♥
や…
は～～…♥
ふ、うぇ…？
何…
ん…ッ
はぁ…
はぁ…
んぐ…ッ
げぷっ
すぅ
はぁ…
げ、げぇっぷ…ッ
くん…くん♥
くん…♥
スンスン…
お…ッ♥
おぁ…♥
はぁ…
ハァハァ…♥
スンスン…
げぷっ
スゥゥゥ～・・・♥♥♥
スンッ…♥
スンッ…♥
は～～…♥
げぼっ
げぼっ
は～～…♥
は～～…♥
ああああ・・・・・
臭(くっさ)・・・ツーツ♥♥♥
愛する
サーシャちゃんの
胃の中から僕の
汚濁ザーメン臭が・・♥
すうううううううう…っ



発行日：２０２４年1月20日
サークル：臨終サーカス
描いた人：はぐはぐ
連絡先：bosakoaraara@gmail.com
印刷所：大陽出版




数日後の土曜日。。
ぎくり…っ
……。
ぼぉ～～……。
ぐ～～
が～～
すぴ～～
ぱしゃ
ぱしゃ
ぱしゃ
スッスッ
しゃこしゃこ
しゃこしゃこ…
ふきふき
ふき…
くぁ～～…。


※まだ6時くらい。
ふとし今日もオネボウサン・・
最近お仕事タイヘンなのカナ・・？
そーいうコトあまり話してくれない・・・
充電器外れてるヨ・・
すぴー
すぴ
すー
・・・・・・・・。
土曜日の朝はいつもこう・・。
ふにふにふに…
大人ってカワイソウだヨ。
むら…っ
・・・・・・・・。
つんつん…
せっかくデートな日なのに・・・。







（サーシャちゃん光速思考回転中。）


すやぁ……
すぅ～……
すぅ～……
すぅ～……
すぅ～……
すぅ～
すぅ～
おわり。



☆あとがき。☆

☆ ｻｰｼｬちゃんが大好きっていう気持ちだけ
いっぱい詰め込みました!!!


臨終サービス
◆presented by.rinjyu circus